

主担当部：政策部

## (プログラムの目標)

住む人も訪れる人も心の豊かさを実感できる「こころのふるさと三重」をめざして、特色ある地域資源を活用した地域づくりと多彩なイベント、観光振興の取組を一体的に展開することにより、三重県の多様な魅力の情報発信や集客交流の拡大につなげます。

また、2014年に開催する、「こころのふるさと三重」づくりをテーマとした集大成イベントに向け、気運を高めていきます。

## (プログラムのねらい)

住む人が自らの地域への誇りと愛着を再認識し、また、訪れる人が本当の幸せや忘れかけていた大切なものに気づくなど、心の拠り所を見つけ、「心の豊かさ」を実感できる地が「こころのふるさと三重」です。

その実現に向けて、2013年（平成25年）の御遷宮も視野に入れて、市町を中心とした地域が主体的に取り組む特色ある地域資源を活用した地域づくりを促進し、その成果を生かして多彩なイベントを展開するとともに、地域づくりと観光振興の取組を結びつけることにより、集客交流の拡大や地域の魅力・価値の向上、ひいては、持続する地域社会につなげていきます。

## (プログラムの背景)

本格的な人口減少時代が到来する中で、地域社会の活力の衰退、地域文化の継承が危惧されています。

一方、式年遷宮の開始や熊野古道の世界遺産登録、中部国際空港の開港、高速道路の整備など、三重県の魅力を広く発信し、集客交流を拡大する好機でもあります。

この機会を逃すことなく、市町をはじめとする地域の多様な主体が協働して、地域資源の持つ多面的な価値に着目し、地域に埋もれた資源の発掘・活用を進めるとともに、住む人、訪れる人の交流・連携を促進することにより、地域の魅力や価値を高めていくことが求められています。

## (プログラムの構成)

### 取組方向1：住む人にも訪れる人にも魅力的な地域づくりの促進に向けて

#### (県の取組)

- (1) 地域の埋もれた資源(文化ストック)を活用し、市町を中心とする地域の多様な主体が協働して取り組む地域づくりの中で、「情報発信力」、「集客力」、「継続力」を有する取組を支援します。

#### (県が他の主体に参画を期待する取組)

市町をはじめとする地域の多様な主体は、連携・協働して、住む人にも訪れる人にも魅力的な地域づくりに取り組みます。

### 取組方向2：地域資源(歴史的・文化的資産)の魅力・価値の向上に向けて

#### (県の取組)

- (1) 文化財やまち並み、街道など地域の歴史的・文化的資産を保全、活用した良好な景観形成やまちづくり活動を促進するとともに、その魅力を広く発信し、集客交流の拡大につなげます。

#### (県が他の主体に参画を期待する取組)

文化財の所有者や地域住民・NPOは、歴史的・文化的資産を生かした良好な景観形成やまちづくりに取り組みます。

市町は、地域の多様な主体と連携し、歴史的・文化的資産の魅力を生かした活動に取り組めます。

### 取組方向3：地域資源(農山漁村)の魅力・価値の向上に向けて

#### (県の取組)

- (1) 棚田や里山の風景や郷土料理など農山漁村の魅力を広く発信するとともに、遊休農地や空き家など農山漁村の資源を活用し、都市との交流・連携を促進します。

#### (県が他の主体に参画を期待する取組)

農山漁村の住民は、農山漁村の魅力を生かした地域づくりに取り組みます。

都市住民やNPOは、農山漁村の住民との相互理解により、田舎ファンや田舎サポーターとして農山漁村の地域づくりに参加します。

市町は、多様な主体と連携・協働して農山漁村の地域づくりに取り組みます。

### 取組方向4：地域資源(熊野古道)の魅力・価値の向上に向けて

#### (県の取組)

- (1) 世界遺産「熊野古道伊勢路」の魅力を広く発信するとともに、アクセスの利便性向上など、伊勢路全体を安心して歩ける環境づくりを進めます。また、東紀州地域の集客交流に結びつく資源の魅力向上をはかります。

(県が他の主体に参画を期待する取組)

関係市町、事業者、NPO、地域住民など熊野古道を通じた地域内外の多くの人々が、交流・連携を進めます。

取組方向5：地域づくりと観光振興の一体的な取組に向けて

(県の取組)

- (1) 地域が主体的に取り組む、体験観光や産業観光といった新たな観光の魅力づくりや商品化の取組を支援します。また、商品化に向けた協働プロセスを通じて、人材の育成とノウハウの蓄積・交流を進めます。
- (2) 地域の魅力が旅行商品として市場で普及するよう、地域と一体となった情報発信・誘客戦略を展開します。

(県が他の主体に参画を期待する取組)

地域住民は、地域の魅力づくりの場に積極的に参画します。  
観光関連事業者は、地域社会の一員として、地域の魅力づくりに積極的に貢献します。  
市町は、事業者や住民、県など多様な主体と連携し、訪れる人、住む人双方の視点に立った地域の魅力づくりに取り組みます。

取組方向6：地域づくりをベースとしたイベントの展開に向けて

(県の取組)

- (1) 地域が主体的に取り組む特色ある地域資源を活用した地域づくりを基本に、その成果を生かして多彩なイベントを展開し、2014年(平成26年)に開催する、「このころのふるさと三重」づくりをテーマとした集大成のイベントに向け、気運を高めていきます。

(県が他の主体に参画を期待する取組)

市町は、推進組織に参画するとともに、各地域で開催するイベントに主体的に取り組めます。  
住民、地域団体、NPO、企業等は、地域づくりと連動した自主企画イベントを開催するとともに、推進組織や市町が中心となって開催するイベントに協賛・参画します。  
地域づくり関係者は、多様な地域づくり団体間のネットワークづくりと連携強化に取り組めます。

平成19年度 みえの舞台づくりプログラム要求事業一覧

(単位：千円)

事業担当部名	事業名	施策番号 (資料の頁)	施策名	平成19年度 事業費
政策部	「こころのふるさと三重」 づくりイベント総合推進 事業費	531 (p. 111)	地域の特性を生か した地域づくり	16,294
政策部	熊野古道伊勢路を結ぶし くみづくり事業費	533 (p. 115)	東紀州地域の振興	15,428
政策部	世界遺産熊野古道対策推 進事業費	533 (p. 115)	東紀州地域の振興	14,188
政策部	東紀州地域集客交流資源 魅力向上支援事業費	533 (p. 115)	東紀州地域の振興	35,382
生活部	歴史的・文化的資産を生か したみえの魅力発信事業 費	131 (p. 12)	文化にふれ親しむ ことができる環境 づくり	8,050
農水商工部	熊野古道シャトルバスの 活用による熊野古道の魅 力増進事業費【重点事業再 掲】	233 (p. 38)	観光・交流産業の振 興	12,204
農水商工部	「旅ごころ誘う三重奏」誘 客戦略推進事業費【重点事 業再掲】	233 (p. 38)	観光・交流産業の振 興	133,000
農水商工部	三重の観光プロデューサー 一設置事業費【重点事業再 掲】	233 (p. 38)	観光・交流産業の振 興	10,992
農水商工部	魅力ある観光地グレード アップ支援事業費【重点事 業再掲】	233 (p. 38)	観光・交流産業の振 興	25,272
農水商工部	グリーン・ツーリズムネットワ ーク全国 大会開催事業費	532 (p. 113)	元気で魅力ある農 山漁村づくり	2,000
農水商工部	都市との共生による農山 漁村再生事業費【重点事業 再掲】	532 (p. 113)	元気で魅力ある農 山漁村づくり	12,600
県土整備部	景観まちづくりプロジェ クト事業【重点事業再掲】	523 (p. 104)	住民参画による景 観まちづくりの推 進	100,000
教育委員会	文化財を活かしたこころ のふるさと三重づくり事 業費	131 (p. 12)	文化にふれ親しむ ことができる環境 づくり	97,737
(事業 計)				483,147